

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

保護者セミナー

開催日時

令和元年

7月20日(土)

時間：10:00～12:00

会場：結とぴあ(多田記念大野有終会館) 大野市天神町1-19



講師：龍谿 乗峰(たつたに じょうほう)氏

前敦賀短期大学教授

対話型保護者セミナー

～参加者の今の思いに込めて～

テーマ：1. 家族や周囲は、どの様に動き進展して行くのか

「こうあらねば！」の精神路から、「あら！それいいね」の家族力動論へ

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：就職や仕事に悩みのあるお子さんを持つご家族の方

定員：40名(事前にサポステふくいまで申し込み下さい)

【講師紹介】

先生は、教育関係を中心に30年ほどカウンセリングに携わり、その間、病院でチームを組みながら心理療法に関わってこられました。現在は、大学や専門学校などで講師をされており、専門分野は家族臨床心理学、カウンセリング臨床などです。



日時：令和元年5月18日(土) 5月開催のセミナーレポート

テーマ：「世間話なら乗ってくるけど、将来の話になると部屋に籠ってしまう。

どうしたものか・・・?===3カ月で何とかしたい。===」②好ましい発言、行動をふやそう

講師：心理相談室アシスト 代表・臨床心理士 岡本 克己 氏

前回のセミナーでは、次回までの1ヶ月の間で「ご本人の好ましい言動に目を向ける」、「その好ましい言動を具体的な言葉で承認する」、「好ましい言動の増加を確認する」ことが宿題になっていたため、前回出席された方に近況を伺いました。保護者の方は、それぞれにお子さんの言動に目を向け、好ましい言動を承認されているようでした。

今回は、お子さんとの関係をよりよくするために、本人の「思い」を聞くことについて学びました。保護者は何を知りたいのか、どんな聞き方だとよいか、保護者自身が本人に「思い」を伝えるにはどうしたらいいかを以下のような視点でお話を伺いました。○家族の「思い」を伝えることと、ご本人の「思い」を聞くことを分ける：本人の話を聞くときは聞くことに集中し、保護者の思いを話すことは差し控える。保護者の思いも伝えてもよい。

(例)「今度は、お母さんの話を聞いてくれるかな?」○仕事(学校)に行く「理由」は何か?：つらいことを乗り越えるエネルギーになるものが「何か」を知ることが大事。仕事をする(学校へ行く)ことのメリットを聞いた、増やしたりする。○やりたいことを聞いてみる：やりたいことが話せないときは、「今の生活に満足できているか?」、「物足りないことはないか」という聞き方もある。最後のセミナーでは、これまでに気づいたご本人の好ましい言動から、一歩踏み出せるような関わりを確認していきます。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション(サポステふくい)

福井市光陽2丁目3-22 TEL:0776-21-0311

(受付時間 月～金 9:00～17:00) E-mail: info@fukui-yss.com